

教科別授業改善推進プラン（体育科）

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・得意な児童が手本を示して他の児童が見ることにより、自分の動きの技術・技能の向上に役立っている児童が見られた。
- ・2～6人などのグループで活動することで、お互いを励まし合ったり教え合ったりして向上しようとする意識が増えてきた。

(2) 課題

- ・体の使い方を理解していない、基礎感覚が少ないと感じる。
- ・技術・技能向上に向けた練習方法は、提示されて選択はできるが自分なりの工夫が見られない。

2 重点課題

1年	<ul style="list-style-type: none"> ・運動能力の個人差が大きいこと。 ・体を巧みに動かして運動すること。 ・集団での遊びや運動を通して、社会性を身に付けること。 ・自信をもち、いろいろな動きに取り組むこと。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・体力に個人差や運動技能に個人差がみられる。 ・集団行動において、時間やきまりを守ること。 ・ゲームの勝敗を受け入れること。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎体力・技能を身に付けること。 ・めあてや技のポイントを意識して運動に取り組むこと。 ・ルールを守って運動し、ゲームの勝敗を受け入れること。
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動をすること。 ・指示をしっかりと聞いて活動に取り組むこと。 ・学習のきまりを守って活動し、ゲームの勝敗を受け入れること。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・運動経験や練習経験によって、運動技能の偏りがみられること。 ・チーム作戦や問題解決のために協働的に学ぶこと。 ・自ら進んで学習課題や技能の習得に取り組むこと。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・運動経験や練習経験によって、運動技能の偏りがみられること。 ・ボールを投げる能力を向上させること。 ・どの単元でも練習を粘り強く続け、自己の課題を見つけること。

3 授業改善策

1年	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを通して、さまざまな動きを経験させる。 ・ゲーム遊びなど、小集団で遊ぶ経験や運動する経験を積ませる。 ・良い動きやコツを紹介し合い、意識して取り組めるようにする。 ・工夫した動きや良い動きを紹介する活動を通して、互いに認め合えるようにする。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・主運動につながる基礎的、基本的な準備運動を取り入れ、技能を習得できるようにする。 ・学習カードや掲示物を活用し、運動のポイントを理解した上で運動させる。 ・友達と励まし合って活動できたことを振り返る時間を多く取る。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の始めに基本的な動きを取り入れた補助運動を取り入れる。 ・友達のよい動きをまねさせることで、いろいろな動きの経験をさせる。 ・タブレット端末で自分や友達の運動の様子を撮影するなどし、イメージをもちやすくする。 ・学習カードや掲示物を活用し、事前に見通しをもたせて行動させる。 ・勝敗を受け入れていた児童やそれ以外で活躍した児童を褒め、意識づけする。
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・指示を短く明確に分かりやすくする。 ・ゲームの勝敗に関わらず、楽しんで活動に取り組んだり、自分の成長を感じたりすること

	<p>の大切さを日頃から伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードに児童同士のよいところを記入できるようにする。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・運動経験の少ない運動については、技能に必要な基礎感覚作りの時間を継続的にとる。 ・各領域の授業の中で、個人の目標を子供自身が設定する場をつくる。そして、それぞれが目標を意識した学習の場を選ぶ。 ・タブレット端末や掲示物で運動のポイントを視覚的に分かりやすく例示し、的確に動きが捉えられるようにする。 ・児童同士で動画を撮影し、助言をし合える環境作りをする。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動や跳び箱運動の際に、スモールステップを意識した場の設定を行う。 ・ボールを扱うときに、足の踏み込み、腕の振り、腰のひねり方などのフォームを確認する。 ・自分が運動する姿を動画に撮り、分析する。その動画を見て、自分の目標や振り返りに活用し、練習方法を考える。
全学年 共通	<ul style="list-style-type: none"> ・動きのポイントが分かる資料や映像資料を提示し、視覚的に理解できるようにする。 ・運動時間の確保として、補助運動、主運動含めて30分以上確保する。 ・ルールやマナーを守り、友達を称賛している児童を全体で共有する時間や振り返りで紹介し、他の児童への見本となるようにする。 ・休み時間が校庭割り当ての日は、外で遊ばせる。